

議題(3) ワーキンググループにおける検討状況



ワーキンググループの開催・メンバー

- 昨年度の推進会議開催後に、荒井会長のもとにワーキンググループを設置し、計2回にわたり、MCIに関する議論を行った。

【座長】 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 理事長 荒井 秀典

【メンバー】 ※五十音順、肩書はWG開始時

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター	理事長	秋下 雅弘
一般社団法人 日本老年医学会	代議員	石井 伸弥
地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター	研究部長	井藤 佳恵
地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター	医長	井原 涼子
地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター	副院長	岩田 淳
一般社団法人 日本認知症予防学会	理事	浦上 克哉
公益社団法人 日本医師会	常任理事	江澤 和彦
地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター	研究副部長	岡村 毅
国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター	研究所長	櫻井 孝
地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター	研究副部長	鈴木 宏幸
国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター	もの忘れセンター長	武田 章敬
一般社団法人 日本老年医学会	理事	武地 一
地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター	名誉理事長	鳥羽 研二
地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター	研究副所長	藤原 佳典
国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター	理事長特任補佐	水澤 英洋
一般社団法人 日本神経学会	監事	山田 正仁

開催日時

- 第1回:令和7年12月19日

鳥羽委員からMCIをめぐる課題について発表後、フリーディスカッション

- 第2回:令和8年3月16日

江澤委員から医療保険における療養指導、全老健 東会長から認知症短期集中リハビリテーションについて、櫻井委員からNCGGの取組についての報告後、フリーディスカッション

議論の内容

■ 議論の内容：提起された論点

- 生活習慣病管理料、地域包括診療料/地域包括診療加算とMCI・認知症
- MCIの方に対する非薬物療法・リハビリテーション
- 抗アミロイドβ抗体薬(レカネマブ等)とMCI
- バイオマーカー等による超早期診断が進むことへの是非
- MCIという名称・スティグマ
- 医療保険上の「疾患」とMCI(医療経済効果とエビデンスの必要性)

→ MCIを早期に把握し、非薬物療法を含む早期対応を行うことについては、ほぼ賛同。

今後「攻めの予防医療」に関する認知症施策の動向も踏まえつつ、引き続き議論を継続する。